

## 日経配当指数、14年の最終値 2年連続で過去最高を更新

日本経済新聞社が1日まとめた日経平均・配当指数(2014年)の最終値は265円12銭と、13年に比べ38円39銭上昇し、データのある1998年以降で最高になった。指数が上昇するのは5年連続で、昨年に続き2年連続で過去最高を更新した。

日経配当指数は、日経平均株価の構成銘柄をある年の1月から12月まで保有していた場合に得られる配当額を指数化したもの。3月末で14年分の配当額が確定したため、最終値が決まった。

13年との比較可能な構成銘柄のうち、増配したのは111銘柄と、減配の24銘柄を大きく上回った。上昇への寄与度が大きかったのはファナック(6954)やセコム(9735)、トヨタ自動車(7203)などだった。

決算期が集中する15年3月期末の配当は6月の株主総会後に15年の指数値に反映される。

※日経平均・配当指数についての詳細は[こちら](#)。